

地域スクール

## 「第15回 新潟・山形合宿」報告

2010年11月19日(金)～11月21日(日)

@国立磐梯青少年交流の家

「新潟・山形合宿」は新潟大学、山形大学を中心としてその近隣の素粒子論研究者や大学院生の研究交流を目的としている。例年、他大学から講師を招き、最先端の素粒子物理の講義をして頂く。また一般参加者からの研究発表も行われる。今年度は中村真氏(京都大学)を講師としてお招きし、「ゲージ・重力対応とその応用」というタイトルで自身の研究をふまえ講義が行われた。以下、プログラムとその講演を報告する。

(文責 森田 悠介)

世話人: 江尻 信司(新潟大学)

森田 悠介(新潟大学)

### 11月19日(金)

- M2 発表 (14:30 - 15:00): 塚田 晃子 (山形大学)  
「シュレーディンガー場の三体相互作用について」
- M2 発表 (15:05 - 15:35): 志田 圭祐 (山形大学)  
「Hartree-Fock-Bogoliubov 理論における一般的な Bogoliubov 変換について」
- M2 発表 (15:40 - 16:10): 一條 真澄 (新潟大学)  
「宇宙論的摂動論について - 同期ゲージとニュートンゲージの場合 -」
- 研究発表 (19:30 - 20:10): 佐藤 雅尚 (新潟大学)  
「Wilson 繰り込み群におけるカイラルアノマリーについて」
- 研究発表 (20:20 - 21:00): 中島 正裕 (山形大学)  
「隠れた変数の理論と Contextuality」
- 研究発表 (19:30 - 20:10): 清水 勇介 (新潟大学)  
「Neutrino Masses and Mixing from  $S(4)$  Flavor Twisting」

### 11月20日(土)

- 講義 1 (09:00 - 12:00): 中村 真 (京都大学)
- 研究発表 (13:00 - 13:40): 高野 浩志 (上越教育大学)  
「滑る場合における viscous 摩擦によるラトルバック反転運動の解析」
- 研究発表 (13:00 - 13:40): 坂井 伸之 (山形大学)  
「New non-topological solitons: Q-tubes, Q-rings and Q-crusts」
- 講義 2 (19:00 - 21:00): 中村 真 (京都大学)

### 11月21日(日)

- 講義 3 (09:00 - 12:00): 中村 真 (京都大学)

